

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレスシアスの食卓 ― 河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点 ― 読者の声・編集者の声



車検費用がまた値上がり。構造的な不正事件の対処もないまま、業者は益々肥大する。その元締めは国交省OBが天下る関連団体で、政治家と癒着してカネを吸い込む。物言わぬユーザーがカモられるカラクリ。(110頁)

- 110 **「車検」の暗部** ― ユーザー搾取「五兆円市場」の悪辣
- 80 金融の世紀 ― 黒木亮
- 88 皇室の風 ― 岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う ― 河谷史夫
- 96 をんな千一夜 ― 石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

- 60 世界株高はいつまで続くか ― 鍵握る「中国マネー」の行方
- 62 **原発の急所は「サイバー防衛」** ― 時代錯誤の無力なテロ対策
- 64 **ENEOS「統治崩壊」が加速** ― 再エネ子会社「転売」に潜む火種
- 67 連載「クローズアップ」
- 68 前田義晃（NTTドコモ新社長） ― 澤田が抜擢「非生え抜き」の正体
- 68 アステラス製薬の止まらぬ「衰弱」 ― 業績悪化で迫る存続の危機
- 70 **再び巨額損失「農林中金」の大罪** ― この国の農業を滅ぼす愚行
- 72 物流企業「買取合戦」が花盛り ― 業界大再編を巡る悲劇と喜劇
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」豊橋商工信用組合 ― 再び公的資金注入の「杜撰経営」
- 82 トヨタ独り占めの「利益五兆円」 ― 果てなき「下請け搾取」の強欲
- 84 連載「企業研究」**あおぞら銀行** ― 赤字転落で群がる「捕食者」

大和証券の出資、その元手は日本郵政からのカネであり、実質は「公的資金注入」と変わらない。村上ファンドに怯えた末だが、その先では北尾SBIが手ぐすねを引く。大和との提携は、やがて馬糞の川流れに。(84頁)



3補選と静岡県知事選で4連敗だが、負けるほどに延命される摩訶不思議。解散先送りは与党の総意。総裁選を乱戦に持ち込めば現職有利で勝ち抜ける。「何もしないで居座る」が上策と岸田は臍を固めた。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 **ポスト岸田の「大穴」加藤勝信** ― 非主流勢力「結集」の軸となるか
- 48 **総選挙は来年へ** ― 処置無しな岸田「居座り延命術」
- 52 連載「政界スキヤン」森喜朗はなぜ岸田を売ったのか
- 54 **政治資金「法改正」という茶番劇** ― 結局なにも変わらない
- 56 立憲民主の早すぎる「有頂天」 ― 「ポスト泉」次期代表争いは乱戦に
- 58 連載「罪深きはこの官僚」山下隆（経済産業省経済産業政策局長） ― 国産旅客機「五兆円」計画を可押し

6 戦争に飢えた米国

●特別レポート

- 3 連載「巻頭インタビュー」石井吉春 ― 地方自治体より国家の「消滅危機」
- 12 「肥満超大国」米国の異常事態 ― 平均寿命への深刻な影響
- 14 **極右勢力「欧州支配」の現実味** ― 権力奪取への「深慮遠謀」
- 16 プーチン側近「派閥抗争」が過熱 ― 「跡目」を巡る暗闘の行方
- 18 WORLD ● 情報カプセル
- 22 インド「暗殺大国」の実像 ― 名ばかり「民主主義」を覆う闇
- 24 **ウクライナに迫る「最悪シナリオ」** ― プーチンの「征服作戦」が始まる
- 28 東南アジアが沸く「レアメタル熱」 ― 期待される中国への「対抗戦」
- 30 **イラン最高指導者後継は誰か** ― 次期大統領を巡る密やかな暗闘
- 32 タイタクシン一家の復活劇 ― 再び「同族支配」への黒い野望
- 34 **中国軍「台湾包囲演習」の虚と実** ― 着実に進む「侵攻」への準備
- 36 米中経済は激戦の「新局面」へ ― 手段選ばぬ米国に苦悶の中国
- 38 連載「現代史の言霊」六月の虐殺 ― 天安門事件⑤軍事制圧（一九八九）

ウクライナが特需をもたらし、ガザが湾岸諸国の米国製兵器「爆買い」を誘う。同盟諸国が支払う「国際支援」は米軍需産業に流れ込み、さらにそのカネが戦場にばら撒かれる。血まみれの循環が米経済を支えた。(6頁)

